

コロサイ人への手紙

Colossians

新約聖書

第1章

- 1 神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロと、兄弟テモテから、
- 2 コロサイにいる聖徒たち、キリストにある忠実な兄弟たちへ。私たちの父なる神から、恵みと平安があなたがたにありますように。
- 3 私たちは、あなたがたのことを祈るときにいつも、私たちの主イエス・キリストの父なる神に感謝しています。
- 4 キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対してあなたがたが抱いている愛について聞いたからです。
- 5 それらは、あなたがたのために天に蓄えられている望みに基づくもので、あなたがたはこの望みのことを、あなたがたに届いた福音の真理のことばによって聞きました。
- 6 この福音は、あなたがたが神の恵みを聞いて本当に理解したとき以来、世界中で起こっているように、あなたがたの間でも実を結び成長しています。
- 7 そういうものとして、あなたがたは私たちの同労のしもべ、愛するエパfrasから福音を学びました。彼は、あなたがたのためにキリストに忠実に仕える者であり、
- 8 御霊によるあなたがたの愛を、私たちに知らせてくれた人です。
- 9 こういうわけで、私たちもそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたが、あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように。
- 10 また、主にふさわしく歩み、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる良いわざのうちに実を結び、神を知ることにおいて成長しますように。
- 11 神の栄光の支配により、あらゆる力をもって強くされ、どんなことにも忍耐し、寛容でいられますように。
- 12 また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格をあなたがたに与えてくださった御父に、喜びをもって感謝をささげることができますように。
- 13 御父は、私たちを暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。
- 14 この御子にあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。
- 15 御子は、見えない神のかたちであり、すべての造られたものより先に生まれた方です。
- 16 なぜなら、天と地にあるすべてのものは、見えるものも見えないものも、王座であれ主権であれ、支配であれ権威であれ、御子にあって造られたからです。万物は御子によって造られ、御子のために造られました。
- 17 御子は万物に先立って存在し、万物は御子にあって成り立っています。
- 18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、死者の中から最初に生まれた方です。こうして、すべてのことにおいて第一の者となりました。
- 19 なぜなら神は、ご自分の満ち満ちたものをすべて御子のうちに宿らせ、
- 20 その十字架の血によって平和をもたらし、御子によって、御子のために万物を和解させること、すなわち、地にあるものも天にあるものも、御子によって和解させることを良しとしてくださったからです。
- 21 あなたがたも、かつては神から離れ、敵意を抱き、悪い行いの中にありましたが、

- 22 今は、神が御子の肉のからだにおいて、その死によって、あなたがたをご自分と和解させていただきました。あなたがたを聖なる者、傷のない者、責められるところのない者として御前に立たせるためです。
- 23 ただし、あなたがたは信仰に土台を据え、堅く立ち、聞いている福音の望みから外れることなく、信仰にとどまらなければなりません。この福音は、天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられており、私パウロはそれに仕える者となりました。
- 24 今、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。私は、キリストのからだ、すなわち教会のために、自分の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。
- 25 私は神から委ねられた務めにしたがって、教会に仕える者となりました。あなたがたに神のことばを、
- 26 すなわち、世々の昔から多くの世代にわたって隠されてきて、今は神の聖徒たちに明らかにされた奥義を、余すところなく伝えるためです。
- 27 この奥義が異邦人の間でどれほど栄光に富んだものであるか、神は聖徒たちに知らせたいと思われました。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。
- 28 私たちはこのキリストを宣べ伝え、あらゆる知恵をもって、すべての人を諭し、すべての人を教えています。すべての人を、キリストにあって成熟した者として立たせるためです。
- 29 このために、私は自分のうちに力強く働くキリストの力によって、労苦しながら奮闘しています。

第2章

- 1 私が、あなたがたやラオディキアの人たちのために、そのほか私と直接顔を合わせたことがない人たちのために、どんなに苦闘しているか、知ってほしいと思います。
- 2 私が苦闘しているのは、この人たちが愛のうちに結び合わされて心に励ましを受け、さらに、理解することで豊かな全き確信に達し、神の奥義であるキリストを知るようになるためです。
- 3 このキリストのうちに、知恵と知識の宝がすべて隠されています。
- 4 私がこう言うのは、まことしやかな議論によって、だれもあなたがたを惑わすことのないようにするためです。
- 5 私は肉体においては離れていても、霊においてはあなたがたとともにいて、あなたがたの秩序と、キリストに対する堅い信仰を見て喜んでいきます。
- 6 このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストにあって歩みなさい。
- 7 キリストのうちに根ざし、建てられ、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかりに感謝しなさい。
- 8 あの空しいだましごとの哲学によって、だれかの捕らわれの身にならないように、注意しなさい。それは人間の言い伝えによるもの、この世のもろもろの霊によるものであり、キリストによるものではありません。
- 9 キリストのうちにこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。
- 10 あなたがたは、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。

- 11 キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨てて、キリストの割礼を受けたのです。
- 12 バプテスマにおいて、あなたがたはキリストとともに葬られ、また、キリストとともによみがえらされたのです。キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じたからです。
- 13 背きのうちにあり、また肉の割礼がなく、死んだ者であったあなたがたを、神はキリストとともに生かしてくださいました。私たちのすべての背きを赦し、
- 14 私たちに不利な、様々な規定で私たちを責め立てている債務証書を無効にし、それを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。
- 15 そして、様々な支配と権威の武装を解除し、それらをキリストの凱旋の行列に捕虜として加えて、さらしものにされました。
- 16 こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは祭りや新月や安息日のことで、だれかがあなたがたを批判することがあってはなりません。
- 17 これらは、来たるべきものの影であって、本体はキリストにあります。
- 18 自己卑下や御使い礼拝を喜んでいる者が、あなたがたを断罪することがあってはなりません。彼らは自分が見た幻に拠り頼み、肉の思いによっていたずらに思い上がって、
- 19 かしらにしっかり結びつくことをしません。このかしらがもたなくなって、からだ全体は節々と筋によって支えられ、つなぎ合わされ、神に育てられて成長していくのです。
- 20 もしあなたがたがキリストとともに死んで、この世のもろもろの霊から離れたのなら、どうして、まだこの世に生きているかのように、
- 21 「つかむな、味わうな、さわるな」といったために縛られるのですか。
- 22 これらはすべて、使ったら消滅するものについての定めで、人間の戒めや教えによるものです。
- 23 これらの定めは、人間の好き勝手な礼拝、自己卑下、肉体の苦行のゆえに知恵のあることのように見えますが、何の価値もなく、肉を満足させるだけです。

第3章

- 1 こういうわけで、あなたがたはキリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。
- 2 上にあるものを思いなさい。地にあるものを思ってはなりません。
- 3 あなたがたはすでに死んでいて、あなたがたのいのちは、キリストとともに神のうちに隠されているのです。
- 4 あなたがたのいのちであるキリストが現れると、そのときあなたがたも、キリストとともに栄光のうちに現れます。
- 5 ですから、地にあるからだの部分、すなわち、淫らな行い、汚れ、情欲、悪い欲、そして貪欲を殺してしまいなさい。貪欲は偶像礼拝です。
- 6 これらのために、神の怒りが不従順の子らの上に下ります。
- 7 あなたがたも以前は、そのようなものの中に生き、そのような歩みをしていました。
- 8 しかし今は、これらすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、ののしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを捨てなさい。

- 9 互いに偽りを言ってはいけません。あなたがたは古い人をその行いととも脱ぎ捨てて、
- 10 新しい人を着たのです。新しい人は、それを造られた方のかたちにしたがって新しくされ続け、真の知識に至ります。
- 11 そこには、ギリシア人もユダヤ人もなく、割礼のある者もない者も、未開の人も、スキタイ人も、奴隷も自由人もありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです。
- 12 ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。
- 13 互いに忍耐し合い、だれかがほかの人に不満を抱いたとしても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。
- 14 そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全です。
- 15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのために、あなたがたも召されて一つのからだとなったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。
- 16 キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。
- 17 ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。
- 18 妻たちよ。主にある者にふさわしく、夫に従いなさい。
- 19 夫たちよ、妻を愛しなさい。妻に対して辛く当たってはいけません。
- 20 子どもたちよ、すべてのことについて両親に従いなさい。それは主に喜ばれることなのです。
- 21 父たちよ、子どもたちを苛立たせてはいけません。その子たちが意欲を失わないようにするためです。
- 22 奴隷たちよ、すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れつつ、真心から従いなさい。
- 23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。
- 24 あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。
- 25 不正を行う者は、自分が行った不正を報いとして受け取ることになります。不公平な扱いはありません。

第4章

- 1 主人たちよ。あなたがたは、自分たちも天に主人を持つ者だと知っているのですから、奴隷に対して正義と公平を示しなさい。
- 2 たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい。
- 3 同時に、私たちのためにも祈ってください。神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように祈ってください。この奥義のために、私は牢につながれています。
- 4 また、私がこの奥義を、語るべき語り方で明らかに示すことができるように、祈ってください。
- 5 外部の人たちに対しては、機会を十分に活かし、知恵をもって行動しなさい。

- 6 あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい。そうすれば、一人ひとりにどのように答えたらよいかが分かります。
- 7 私の様子はすべて、愛する兄弟、忠実な奉仕者、主にある同労のしもべであるティキコが、あなたがたに知らせます。
- 8 ティキコをあなたがたのもとに遣わすのは、ほかでもなく、あなたがたが私たちの様子を知って、心に励ましを受けるためです。
- 9 また彼は、あなたがたの仲間の一人で、忠実な、愛する兄弟オネシモと一緒にいきます。この二人がこちらの様子をすべて知らせます。
- 10 私とともに囚人となっているアリストアルコと、バルナバのいとこであるマルコが、あなたがたによろしくと言っています。このマルコについては、もし彼があなたがたのところに行ったら迎え入れるように、という指示をあなたがたはすでに受けています。
- 11 ユストと呼ばれるイエスも、よろしくと言っています。割礼のある人では、この三人だけが神の国のために働く私の同労者です。彼らは私にとって慰めになりました。
- 12 あなたがたの仲間の一人、キリスト・イエスのしもべエパfrasが、あなたがたによろしくと言っています。彼はいつも、あなたがたが神のみこころのすべてを確信し、成熟した者として堅く立つことができるように、あなたがたのために祈りに励んでいます。
- 13 私はエパfrasのために証言します。彼はあなたがたのため、またラオディキアとヒエラポリスにいる人々のため、たいへん苦勞しています。
- 14 愛する医者の子ルカ、それにデマスが、あなたがたによろしくと言っています。
- 15 どうか、ラオディキアの兄弟たちに、またニンパと彼女の家にいる教会に、よろしく伝えてください。
- 16 この手紙があなたがたのところでも読まれたら、ラオディキア人の教会でも読まれるようにしてください。あなたがたも、ラオディキアから回って来る手紙を読んでください。
- 17 アルキポに、「主にあって受けた務めを、注意してよく果たすように」と言ってください。
- 18 私パウロが自分の手であいさつを記します。私が牢につながれていることを覚えていてください。どうか、恵みがあなたがたとともにありますように。